

旅行部会

じっくり金沢と名湯・山中温泉

市川 亘（昭和51年 商）

旅行部会は『じっくり金沢と名湯・山中温泉』の旅（2泊3日）をクラブツーリズムの企画を一部買い取る形で実施しました（会員とその家族16名参加）。

2018年11月28日（水）朝、全員東京駅に集合し、新幹線で越後湯沢へ、そして越後湯沢から金沢へは高速を使いバスで移動しました。

午後1時30分頃金沢着。初日はひがし茶屋街、兼六園、長町武家屋敷に行きました。ひがし茶屋街は昔の色町が整備され、小奇麗な観光スポットとして再生されていました。雰囲気を楽しみつつ皆さんお土産品の物色に余念がありませんでした。



兼六園では、地元の案内嬢について回り、紅葉も楽しめました。

長町武家屋敷は、往時を偲ばせる町並みが保存されており、足軽の住んだ家を拝見しました。「足軽でも一戸建てとは流石加賀100万石」との声がありました。

ホテルでの夕食後は吉本さんご夫婦の案内で夜の兼六園を散策。水面に映る紅葉が幻想的で、日中の兼六園とは別の姿を見ることができました。

2日目は、九谷焼窯元、丸岡城、永平寺、東尋坊に行きました。

九谷焼窯元では醤油差し等を買われた方もおられた

ようです。次の丸岡城は典型的な平山城で、人柱のいわれもあり、涙を誘いました。

永平寺は山の斜面に佇む大伽藍で、その大回廊を巡りました。回廊の途中には巨大なすりこぎ棒があり、皆さん撫でていました。お昼は精進料理を堪能しました。



東尋坊は自殺の名所として有名で、またサスペンスドラマのロケ地として有名です。怖いほどの断崖で足元は不規則で、引き込まれる感じがします。

2日目の宿泊は山中温泉です。食事は豪華なカニ食べ放題。吉本さん差し入れの日本酒を飲みました。銘酒「手取川」が印象的でした。

3日目は鶴仙溪、那谷寺、五箇山、莊川峡に行きました。まず朝食後、近くの鶴仙溪を散策。緑の川面と紅葉が美しく、地元民から「もう1週間早ければ最高だったのに」と言われましたが、充分綺麗でした。

那谷寺は紅葉・奇岩・信仰・芭蕉句碑が素晴らしく言葉がありません。「天下の奇勝」だと思いました。滅多に來れないお値打ちものの景色でした。



五箇山は合掌造りの建物があります。日本の里山の風景が残っています。雰囲気を楽しみました。



庄川峡はバスからの景色で、途中で休憩。ダム湖の碧と紅葉が素敵でした。この後帰途につきました。

バスは長時間乗りましたが、面白い添乗員さんの話に退屈しませんでした。点在する要所を上手く回れたと思います。井村さんのご手配、いしかわ観光特使をされている吉本さんのご配慮には深く感謝致します。